

新ビジネス 秋田駅前カ



休止し、その後テナントの入居はなかった。新拠点は空きスペースの有効活用を図るほか、交通利便性の高いエリアに開設することで事業者と地元学生らとの交流につなげることも狙いとしている。

新拠点は「LISH AKITA（リッシュアキタ）」（仮称）の名称で3月の開設を予定している。テーブルや椅子が並ぶオープンスペースを中心に構成し、事業者が入居できる個室も用意する。1月中旬以降、入居事業者を含む会合を募る。

JR東は、昨年3月に開業した大規模再開発エリア「高輪ゲートウェイシティ」（東京・港区）に、新ビジネス創出を目指す拠

商業施設が集まるJR秋田駅前。アルス地下1階にこの春、事業者や大学生が集う新ビジネス創造拠点が誕生する

サポート拠点



リッシュアキタのイメージ図。今後実態となる可能性がある（JR東日本提供）

「高輪化や資料整理で（所有者が）改修に踏み出せない状況が踏まえた」（新木）などの回答があった。徳島県は26年度末までを集中取り組み期間と位置付け、診断で倒壊の恐れがあると判断された住宅への補助を最高110万円から210万円に引き上げた。宮城県や千葉県は、国の補助限度額引き上げに合わせて上限を引き上げたとしている。

一方「拡充していない」とした4県は取材に「市町村から（補助金引き上げの）要望がなかった」との理由を挙げた。ただ岩手、埼玉両県は今後の引き上げを検討しているという。

「高輪化や資料整理で（所有者が）改修に踏み出せない状況が踏まえた」（新木）などの回答があった。徳島県は26年度末までを集中取り組み期間と位置付け、診断で倒壊の恐れがあると判断された住宅への補助を最高110万円から210万円に引き上げた。宮城県や千葉県は、国の補助限度額引き上げに合わせて上限を引き上げたとしている。

一方「拡充していない」とした4県は取材に「市町村から（補助金引き上げの）要望がなかった」との理由を挙げた。ただ岩手、埼玉両県は今後の引き上げを検討しているという。

ナマハゲ雄たけび 男鹿

男鹿半島一帯に伝わる民俗行事「男鹿のナマハゲ」が31日夜、男鹿市の各町内で行われた。ナマハゲは訪問した家の災いを払い、祝福をもたらす魔神とされる。家々ではお神酒やお膳でもてなした。

同市船越の新地町内では19、46歳の男性6人がナマハゲ役となった。神事後、午後5時過ぎから2組に分かれて町内を回った。「ウオー」と雄たけびを上げて家々を訪れ、子どもを見つけては「泣く子はいねが」「親の言うこと聞いてるが」と迫った。孫や近隣の子どもが集まった安田豊さん（74）宅にナマハゲが入ってくると、雄たけびと泣き声が飛び交った。乾太生ちゃん（3）は「連れて行く」と言われて怖かった。いい子で頑張る」と語った。

今回初めてナマハゲ役を務めた大学生の太田治さん（19）は「若い人も減っているので少しでも地元で貢献した

（阿部拓郎、佐藤亮真）
さきがけ動画



安田さん宅を訪れたナマハゲに驚く子ども。31日夜、男鹿市船越

住宅倒壊相次いだ能登地震後 耐震支援43都道府県拡充

本県は含まれず

住宅の倒壊が相次いだ2024年元日の能登半島地震の後、全都道府県の9割に当たる43都道府県が、住宅耐震化の補助金引き上げなど住民支援を拡充していることが31日、共同通信のアンケートで分かった。耐震化の重要性を改めて認識し、資材高騰の状況も踏まえながら、診断や改修費用の補助金引き上げや、補助対象の住宅の拡大に取り組んでいる状況が判明した。

■関連記事31面

多くの家族が元日のひとときを襲い、災害関連死を含め698人が犠牲になった能登地震から2年。1月1日には石川県輪島市で県主催の追悼式が開かれ、遺族らが参列する。

アンケートは25年11月と12月、国や市区町村とともに住宅所有者らに対する耐震化補助を一部負担している全都道府県を対象に実施。能登地震後に支援を拡充した、と回答したのは青森、静岡、宮崎各県など43都道府県に上った。秋

各都道府県が拡充した住宅耐震化支援の主な内容	
既存の耐震診断・耐震改修の補助金額・補助率を引き上げ	青森、福井、宮崎など40都道府県
既存の耐震診断・耐震改修の補助対象を拡大	北海道、熊本など13都道府県
建築士や職員の戸別訪問	岩手、愛知など3都道府県
普及啓発のための広報活動	東京、大阪など4都道府県

「高輪化や資料整理で（所有者が）改修に踏み出せない状況が踏まえた」（新木）などの回答があった。徳島県は26年度末までを集中取り組み期間と位置付け、診断で倒壊の恐れがあると判断された住宅への補助を最高110万円から210万円に引き上げた。宮城県や千葉県は、国の補助限度額引き上げに合わせて上限を引き上げたとしている。

一方「拡充していない」とした4県は取材に「市町村から（補助金引き上げの）要望がなかった」との理由を挙げた。ただ岩手、埼玉両県は今後の引き上げを検討しているという。

「高輪化や資料整理で（所有者が）改修に踏み出せない状況が踏まえた」（新木）などの回答があった。徳島県は26年度末までを集中取り組み期間と位置付け、診断で倒壊の恐れがあると判断された住宅への補助を最高110万円から210万円に引き上げた。宮城県や千葉県は、国の補助限度額引き上げに合わせて上限を引き上げたとしている。

一方「拡充していない」とした4県は取材に「市町村から（補助金引き上げの）要望がなかった」との理由を挙げた。ただ岩手、埼玉両県は今後の引き上げを検討しているという。

準以上の耐震性を確保して住み続けられる家にすれば、過酷な避難生活で心身に負担がかかりにくくなる「災害関連死」を防ぐことにもつながるだろう。自分の身だけでなく、大切な人、地域住民を守るためにも、耐震化を進めてほしい。行政は補助金などさまざまな支援制度を充実させ、啓発活動にも力を入れるべきだ。

山二グループ



人のそばに、夢のそばに。

株式会社 山二

山二グループ 検索

国土交通省によると、全国の住宅の耐震化率は23年時点で約90%。耐震性の不十分な住宅は約570万戸あるとされる。

「高輪化や資料整理で（所有者が）改修に踏み出せない状況が踏まえた」（新木）などの回答があった。徳島県は26年度末までを集中取り組み期間と位置付け、診断で倒壊の恐れがあると判断された住宅への補助を最高110万円から210万円に引き上げた。宮城県や千葉県は、国の補助限度額引き上げに合わせて上限を引き上げたとしている。

一方「拡充していない」とした4県は取材に「市町村から（補助金引き上げの）要望がなかった」との理由を挙げた。ただ岩手、埼玉両県は今後の引き上げを検討しているという。

元日第1部

本年もよろしくお願いいたします

ADKグループ

ADKGr株式会社
代表取締役社長 齋藤 和美

秋田電機建設株式会社
代表取締役 熊谷 崇信

ADK富士システム株式会社
代表取締役 齋藤 和美

ADKビジネスパートナー株式会社
代表取締役社長 金 良

過去がどうだったかを知ったところで、どうにもならないなど、たかをくくり、学校での歴史の勉強を怠っていた時期がある。過去は過去。今が良ければそれでいいと。われながら浅はかなことである。大人になってから読んだ本で日本史や世界史の基本的な事柄を初めて知り、目を開かせることの連続だ。先の戦争に至る経緯や背景なども年を取ってから徐々に知るようになったが、それもほんの一部。若

積の乏しさを痛感することばかりだ。歴史学者の磯田道史さんは、子どもの頃から歴史に興味を持った。疑問が生じると、それを調べる手がかりとなる史料を求めて各地を訪ね歩き、思索することを繰り返してきたという。政治や経済が正しい方向に進んでいるかどうかを考察する際も、この丹念な過去を掘る歴史研究の蓄積が土台になっているから、その説得力がある。本県にも講演などで訪れては歴史や文化を学ぶ意義を伝えていく。近年は膨大なデータを分析する人工知能（AI）の存在が注目を集めているが、それを社会にいかにかかしていくかは人間の知恵にかかっている。頭に浮かんだのが「稽古照今」という四字熟語。過去について深く考え、今に照らし合わせることで価値を伝える。「古事記」の序文から取った言葉とされる。戦後80年の節目を経過し、平和への歩みを揺るぎないものにするには、過去に学ぶ謙虚な姿勢が、より一層大切になる。新年に改めて思う。△2026・1・1

北斗星

過去がどうだったかを知ったところで、どうにもならないなど、たかをくくり、学校での歴史の勉強を怠っていた時期がある。過去は過去。今が良ければそれでいいと。われながら浅はかなことである。大人になってから読んだ本で日本史や世界史の基本的な事柄を初めて知り、目を開かせることの連続だ。先の戦争に至る経緯や背景なども年を取ってから徐々に知るようになったが、それもほんの一部。若

きよの紙面

第1部 5 仕事
6 7 キーワ
16 17 おがれ
26 27 ポニーウ
31 32 角館の桜
22 情報ひろ

第2部 テレビ・エンタ
第4部 スポーツ

ご購入申し込みはフリーダイヤル
お問い合わせ、ご意見は読者交流
情報提供は社会部